

藤枝市長 北村正平 様

令和 7 年度の予算編成に向けて

提 言 書

藤 枝 市 議 会

はじめに

本年度、藤枝市が、市制施行70周年を迎え、「ポストコロナの“次の10年”への挑戦～70年目の新たな飛躍～」をテーマに、「次への成長と社会課題への対応」を重点的に進め、「コンパクト＋ネットワークのまちを創る」、「産業としごとを創る」、「ひとの流れを創る」、「健やかに暮らし活躍できるまちを創る」という重点戦略に沿った本市独自のさまざまな施策を推進されてきたことは、大いに評価するところであります。

多くの課題を抱え地方行財政を取り巻く環境はさらに厳しい状況が続くことが予想されますので、今後も継続して、創意工夫により真に実効性のある事業に、限られた財源を有効に活用し、“市民誰もが健康で安心して暮らすことができ、将来に希望を持てるまち”がさらに推進されることを求めています。

つきましては、常任委員会ごとに、所管事務及び重点戦略事業等の調査を実施し、協議・検討を行いましたので、今後の施策推進の一端に資することを願い、「提言」といたします。

令和6年10月15日

藤 枝 市 議 会

【総務委員会】

1. 地域防災の強化と総合防災の徹底

地域防災においては、自助・共助という初動が何より重要であり、その重要性を意識してもらうためにも、各家庭での備えに対する啓発の強化を今まで以上に図られたい。また、企業とともに様々な支援体制を構築し地域防災の連携を強化する観点から、さらなる防災協定の取り組みにも期待したい。

全市的な総合防災においては、避難所における防災資機材や備蓄品の充実とともに、子どもや女性、高齢者などの災害弱者を中心に守るという視点から、避難行動や避難所運営のマニュアルを最適なものとなるよう、見直し・修正を適宜図られたい。

2. 自治会等の負担軽減と地域コミュニティの活性化について

地域における担い手不足や生活スタイルの変容等によって、地域コミュニティにとって貴重な自治会・町内会の危機が叫ばれて久しい状況である。行政から様々な依頼もしているが、会合や提出書類の削減は検討すべき課題であることから民生委員も含め、負担軽減のためのIT化DX化に取り組まれない。

併せて、新型コロナウイルス感染症によって中止となったイベント・集会・趣味などの活動への支援や、薄れてしまった住民同士の触れ合いや地域への愛着の醸成はもとより、防災の観点からも地域コミュニティの活性化に対する支援を図られたい。

3. サッカーのまち藤枝の次代への推進

市制70周年・サッカーのまち100周年を迎え、これから次代に向け新たな歩みを進めていく。藤枝MYFCのJ2リーグでの健闘を中心に、藤枝市役所サッカー部の8連覇、藤枝東や藤枝明誠、藤枝順心の高校世代の全国活躍、少年少女サッカーのさらなる普及等、サッカーのまち藤枝として「レガシー×シビックプライド」に磨きをかけ、より多くの市民とともに新たな歴史を築き上げていただきたい。

4. ハラスメント防止対策とメンタルヘルスケアの強化

ハラスメント、特にカスタマーハラスメントは、日々業務を行っている市内事業所の従業員や市職員に対して、ストレスを与え業務に支障をきたし、時間やコストなど大きな損失を招くものである。

また、対応にあたり悩みを持っている従業員・市職員のメンタルヘルスケアも大切であることから、従来にも増したハラスメント防止対策とメンタルヘルスケアの強化を図られたい。

【健康福祉教育委員会】

1. 放課後児童クラブの開所時間の延長について

多様化した夫婦共稼ぎ世帯が常態化する中、保育園は開所時間も早く、親の労働条件によって時間延長も可能であるが、小学校の放課後児童クラブでは、預けられる時間も保育園より短く、仕事と子育ての両立に苦慮している保護者が多い。

小1の壁ともいわれるが、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行う事が出来るように、子育て世代に対応した運用として頂くため、19時までの開所についてご検討頂きたい。

2. 重症心身障害者の看護・医療が整った施設整備について

重症心身障害者の「親亡き後」問題として、住居や看護・医療が整った施設が志太榛原地域では無いことや、短期に預けられる施設も不足している。重症心身障害者の保護者の高齢化が進み、障害種別を越えて重度化が進行し待機家族も増える中、入院、入所も含めて安心して預けられる施設の確保を、いち早く取り組んで頂きたい。

3. 学校 ICT 環境推進事業の新たな取り組みについて

児童・生徒・教員が一人一台端末で ICT を活用する中で、病気や怪我で学校に来られない、または何らかの理由で不登校となる児童・生徒の為に、遠隔授業をインタラクティブに有効的に利用する事や、学習以外の学校生活の悩みなどを、なんでも話せる信頼関係の築かれている教員に相談したり、悩みなどを専門機関等に気軽に相談できるようにタブレットの活用について検討して頂きたい。

4. 医療機関と薬局の連携について

未成年の医療費の無償化がはじまり、コンビニ受診や患者側の過剰受診が懸念されるようですが、マイナ保険証を有効的に利用し、受診回数や些細な症状から処方、残薬確認による処方日数の調整等、今後に向け無駄のない適切な地域医療として頂きたい。

【建設経済環境委員会】

1. 自然災害に対する強靱化対策

災害は事後対応により膨大なコストを要することが多く、事前に予防措置を講じることによって被害を最小限に抑え、費用対効果の高い対策を実現できると考える。防災・減災に向けた道路・河川などの国土強靱化の取組を一層推進するため、自治会・町内会から出されている危険箇所への要望には迅速に対応されたい。

2. 引き続き交通渋滞緩和へ向けた基幹道路整備を

小川島田幹線及び志太中央幹線など都市計画道路等の未着工区間の施工推進として、小川島田幹線に関しては、通勤時間帯などで市内高岡以東の未着工区間手前の青葉町や青南町近辺での通学路を含む生活道路を抜け道として通り抜ける車両が増加していることから、早急な整備を要望されたい。

3. 「地域計画」と併せた低・未利用農地の戦略的有効活用の推進

農地の「地域計画」策定事業について、優良農地の集約化と担い手の選定が行われているが、一方で維持困難農地や耕作放棄地が明らかになっている。地域計画の策定と併せて、本市農業の明日を担う農業者のための基盤整備促進や設備投資、作業省力化、営農法人化等への相談・支援を図られたい。

また、農地転用などの弾力的運用と、企業立地の推進や移住定住の受け皿となる宅地造成など、市内全域における低利用・未利用農地の有効活用に向けて、戦略的な土地利用施策を講じられたい。

4. 道路維持補修の推進

すべての市道で白色のセンターライン及び外側線等の不鮮明箇所の塗り直し、事故などで破損したカーブミラーやガードレールの取替修繕等を速やかに実施されたい。

また、市道以外については県道の管理者である県をはじめ、横断歩道など交通規制に係るものについては警察に対して、区画線の塗り直し等を速やかに要請されたい。